【第141号　二〇一六年　九月　五日発行】

# 福音の園®だより

平成18年度「高年齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着のための優れた取組」表彰
グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
☎049-230-1111(FAX230-1112)

## ご家族の声

### 幸せな母

今年の一月で九十歳になった母は、福音の園で三年間のデイサービスを経て、昨年十一月から入所介護を受けています。感情の起伏の激しい母なので、ほかの入所者様や職員の皆様に御迷惑をかけるのではと、入所前も、今も心配しています。

しかし、そんな扱いにくい母を、福音の園ではそのまま受け入れていただいています。

「Kさんは、とてもかわいいんですよ」、私が面会に行くと、そう言って母の傍らに寄り添っていただいている職員さん。その姿に深く感謝しています。

家族以上に、自分を認めてくれる人に囲まれ、母は幸せだと思います。家族も安心してお預けしています。

（S・K）

**注** Kさんは共用型デイサービスご利用者でした。「デイサービス終了後 そのままご入居」は5例目です。

## 理念・方針説明

### 「成長」と「生長」の違いから学ぶ！

**グループホーム 福音の園・川越** ホーム長　杉澤　卓巳

「植物が**生長**するとき、人はその美しい植物よりも、もっと美しい人として**成長**している。」（『植物と人間の絆』チャールズ・A・ルイス著　森創社刊）

※　※　※　※　※

『全国初 本格的な「園芸療法」活動実施中！』とパンフレットに謳って、月2回**「園芸療法の日」**を設けています。そんな経緯から「介護の専門性（技術）向上」と共に「園芸療法 活動（技術）の向上」にも苦心してまいりました。そこで園芸療法活動にまつわる「雑学」をご紹介いたします。

#### 本当に「人は植物よりも美しく成長しているか？」

漢字「せいちょう」には「**生長**」と「**成長**」があります。『**日本語大辞典**』（講談社刊）を引くと、

**【生長】**①育って大きくなること。②草木などがのびること

**【成長】**①生物体の重量が増加し、からだが大きくなること

**【成鳥】**成長して生殖能力を持つようになった鳥。対：ひな

と、編纂されていました。ほかで、「**生長は植物の場合にのみ常用される漢字**」だとも耳にしました。

産毛のひなが「成長」して「成鳥」。やがてペアを組み産卵。親鳥は、外敵（猛禽類）から身を盾にしてひなを守る――「成長」とは、本来こういう姿（生活）であるはず？ です。

ところが、一向に絶えない我が子に対する虐待や育児放棄などを目の当たりにする度に、本当に「人は植物よりも美しく**成長**している！」と胸を張って断言できるのか？ と首を傾げてしまいます。もしかしたら、身体だけが伸びる「**生長**」で、精神面（心や愛情）の「成長」が停止したまま、年齢を重ねているだけではないのか？ また、

**【成長】**②規模が大きくなること。用例：経済成長

とありました。介護業界の「ブラック事業所」では、虐待や暴力行為が根絶されずにいます。規模（施設数や店舗数）が大きくなるだけで、事業の拡大に伴う「モラルやコンプライアンスの強化」が軽視（置き去り）されてしまった。果たして、これが「経済**成長**」と呼べるのか？ はなはだ疑問です。

#### 「癒しの園芸療法（園芸福祉）」を目指して

「生長」をこき下ろす様な流れになりましたが、パンフレットには『「**眺める緑**」から「**かかわる緑**」へ――**癒しの園芸療法（園芸福祉）**』と紹介しています。「生長」と「成長」は表裏一体の関係で、いずれかと云う「優劣の関係」にはありません。

そこに「植物と人間の絆」があります。植物は、世話をしてくれる人が強いのか、弱いのか（高学歴者か、そうでないのか等）に関わらず、世話をすれば反応をして「期待に応えて」くれます。私たちが活動している社会的な世界と対照的なものです。

「勝ち負け」の競争社会にあって、「**かかわる緑**」は、私たちを脅かすこともしないし、差別もしません。優劣の評価（判定）もしません。「**かかわる緑**」が育つことで、植物は人に自信を与えてくれます（成功の証拠を見い出します）。もはや、ただの「土いじり」ではなくなり、「**ケアファーム（健康のための農）**」としての「**癒し**」が始まっているのです。

（出典：『オランダにおける「健康のための農」』47頁）

**来訪歓迎**

**御礼**　「園芸療法の日」視察　カゴメ㈱農事業本部担当様
スイートコーン　〇〇農園様（北海道共和町）